

第3回 びわ湖細胞病理チュートリアル概要

Cytopathology Tutorial at Lake Biwa, The 3rd Meeting

日 時：2014年9月27日（土） 10:00～17:15
会 場：栗東芸術文化会館“さきら”小ホール
対 象：細胞検査士、臨床検査技師、細胞診に興味をもつ医師など

セミナー概要：液状化検体細胞診（Liquid-based cytology: LBC）法は婦人科領域での不適正検体回避への対策を目的の一つとして開発された方法で、現在では多くの領域に使用されつつある。しかし、LBC 法で作製した標本は従来法と異なる細胞の見方が求められるため、従来法での細胞像の見方を基本に、新たな見方を習熟する必要がある。そこで、LBC 標本での診断に必要な知識や技術を習得するため今回のチュートリアルを企画し、現在世界中で使用されている代表的な LBC 法である ThinPrep 法と BD SurePath 法を主体に、第一線で活躍中の細胞検査士の方々に講演をお願いした。

コースディレクター：眞鍋 俊明（滋賀県立成人病センター研究所）
講 師：大杉 増美（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社）
松並 平晋（ホロジックジャパン株式会社）
坂本 寛文（株式会社 東海細胞研究所）
小林 孝子（一般社団法人 福山市医師会 健康支援センター）
白波瀬 浩幸（京都大学医学部附属病院 病理診断科）
佐藤 正和（国立病院機構四国がんセンター 病理部）
座 長：畠 榮（川崎医科大学附属川崎病院）

定 員：100名（事前申込みが必要です。）

参 加 費：3,000円（ハンドアウト代含む）

主 催：滋賀県立成人病センター

申し込み方法：参加をご希望の方は E-mail または FAX でお申し込みください。その時、タイトルを「第3回びわ湖細胞病理チュートリアル参加申込み希望」とし、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・E-mail アドレスをお書き添えください。確認後、振り込み方法などの詳細な案内をお送り致します。尚、**下記 URL から直接申し込みが出来ます。**

（なお、細胞検査士の方は細胞診参加クレジットが取得できます。）

〒524- 8524 滋賀県守山市守山 5-4-30

滋賀県立成人病センター研究所

井関 知子

TEL: 077-582-6034 FAX: 077-582-6041

E-mail: kenkyu@res.med.shiga-pref.jp

http://s-kantan.com/pref-shiga-u/offer/offerList_detail.action?tempString=SAZANAMI

第3回びわ湖細胞病理チュートリアル プログラム

日時：2014年9月27日（土） 10:00～17:15

会場：栗東芸術文化会館“さきら”小ホール（滋賀県栗東市：JR京都駅からJR琵琶湖線栗東駅25分）

10:00-10:10

開会のあいさつ

10:10-11:10

液状化検体細胞診の原理・検体処理・標本作製法ならびにその応用
(シュアパス)

大杉増美

所属：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ダイアグノスティックシステム事業部

11:10-12:10

液状化検体細胞診の原理・検体処理・標本作製法ならびにその応用
(シンプレップ)

松並 平晋

所属：ホロジックジャパン株式会社 マーケティング・臨床開発

12:10-13:10

お昼休み

13:10-14:10

子宮頸部扁平上皮系病変の見方(シュアパス)

坂本寛文

所属：東海細胞研究所

14:10-15:10

子宮頸部扁平上皮系病変の見方(シンプレップ)

小林孝子

所属：一般社団法人 福山市医師会 健康支援センター 事業管理部

15:10-15:25

休憩

15:25-16:10 トピックス

子宮頸部腺系病変の見方

胃型腺癌を含むLEGH, MDA のLBCでの診断基準

白波瀬浩幸

所属：京都大学医学部附属病院病理診断科

16：10-17：10

泌尿器領域の液状化細胞診

佐藤正和

所属：国立病院機構四国がんセンター 臨床検査科病理

17：10-17：15

閉会の挨拶

座長

島 榮

所属：川崎医科大学附属川崎病院 病理部